

## 令和7年度 第3回佐賀県立鹿島高等学校学校運営協議会 議事録

日 時：令和8年2月17日（火） 13:30～15:30

場 所：鹿島高等学校赤門学舎地歴教室

参加者：20名【委員(11名)】【事務局(4名)】【校内委員(5名)】

※学校運営協議会の会議の前に、ワークショップ「鹿島高校について一緒に考えてみませんか」を開催。

- ・生徒13名〈2年生 普通科3名〉〈1年生普通科6名、商業科1名、食品調理科3名〉
- ・学校運営協議会運営委員10名
- ・地域おこし協力隊1名、鹿島市企画広報課1名、本校職員9名参加

### I 学校長挨拶

➤ 前回11月の学校運営協議会以降の近況報告

- ・11月10日実施 旭ヶ岡キャリア塾 Stage4
  - ➔ 大成功を収め、生徒アンケートの結果も非常に高い評価を示している。
- ・12月5日実施 大手門フェア
  - ➔ 商業科と食品調理科で成果発表を行い、多くの保護者・地域の方が参加。  
鹿島実業高校の卒業生がキッチンカーで参加しイベントに協力。
- ・12月8日～11日実施 2年生修学旅行➔ 行先を北海道から東京へ変更後の初の修学旅行は無事に終了。
- ・今後の行事について➔ 2月28日卒業式、3月24日修了式

※来年度の学校行事の変更点➔ 熱中症防止の観点から、4月に体育祭を開催することに決定。

➤ 表彰関係について

- ・10月 技能五輪全国大会日本料理 2年生 敢闘賞（県教育委員会表彰）
- ・1月 技能五輪全国大会日本料理佐賀県予選会 2年生 優勝（来年度全国大会出場）
- ・11月 九州総合文化祭囲碁部門 2年生 1位（教育長表彰）
- ・12月「第9回佐賀さいこう！企画甲子園」 最優秀企画賞（2連覇） 「田澤アラーム・ラボ」  
※2月11日 SAKURASでの「かしたら未来フェス」でも発表
- ・2月 九州新人レスリング大会 2年生 個人優勝（全国大会出場）

➤ 3年生の進路

- ・就職：大手門学舎の生徒を中心に100%内定（鹿島市役所を含む）
- ・進学：年内入試 国公立大総合型学選抜13名合格・学校推薦型選抜2名合格  
1月17日・18日の共通テストを無事受験し、現在、私立大学・国公立大学2次試験へ向けて準備中

➤ 高校入試：2月3日に特別選抜 倍率はトータル0.92倍。

➤ 本日の会議の目的

本年度の学校運営協議会の取組を振り返って、3つの各部会からの成果と課題の報告。その後、本日の生徒との意見交換も含めて、委員の皆様からご意見をいただき、次年度の取組に生かしたい。

➤ 次年度の運営委員依頼について

## II 会長挨拶

- 日頃からの皆様のご尽力に感謝したい。
- ワークショップでの生徒たちの意見、生徒の伝えたいという思いを大事にしたい。せっかく出た意見を生かして、学校運営協議会としても生徒の意見が生かせるように協力したい。

## III 報告

- 1 (1) 令和7年度学校運営協議会活動状況について  
(2) 令和7年度SAGA唯一無二の学校魅力化促進事業について

- 2 キャリア教育部会から

- ・キャリア塾に向けて、キャリア教育部会でしっかりと話し合いを重ね、準備を進め成功させることができた。午後のキャリア別トークセッションについては、生徒の希望に応じて講座を受講するという形をとっている。生徒アンケート結果や個別の感想から、生徒の満足度が高いことがわかる。
- ・1年生オリエンテーションで、キャリアラボの説明と地域おこし協力隊の活動説明を行った。また、今年度も鹿島市地域おこし協力隊の方に毎週金曜日に在室してもらい、様々な場面で生徒のサポートをしていただいた。また、キャリア塾の後に、講師の方ともう一度話をしたいという生徒がおり、再度キャリア相談を行う機会を設けた。キャリア塾の講師の方とのネットワークを活用し、このような機会を今後も作っていきたい。

- 3 魅力化評価部会から

- (1) 令和7年度学校評価計画（最終評価）について
- 2月10日（火）に魅力化評価部会を開催し、学校の最終評価と同じ評価をいただいた。

- ・「学力の向上（授業改善と指導力向上）」・・・〈学校評価〉A / 〈学校関係者評価〉A
- ・「学力の向上（進路指導の充実と生徒の進路保障）」・・・〈学校評価〉B / 〈学校関係者評価〉B
- ・「心の教育（自他を尊重する心と豊かな心の育成）」・・・〈学校評価〉A / 〈学校関係者評価〉A
- ・「心の教育（いじめの早期発見・対応）」・・・〈学校評価〉A / 〈学校関係者評価〉A
- ・「健康・体づくり（望ましい食習慣）」・・・〈学校評価〉A / 〈学校関係者評価〉A
- ・「健康・体づくり（安全に関する資質・能力の育成）」・・・〈学校評価〉B / 〈学校関係者評価〉B
- ・「業務改善・教職員の働き方改革の推進」・・・〈学校評価〉B / 〈学校関係者評価〉B
- ・「SAGA唯一無二の学校魅力化促進授業」・・・〈学校評価〉B / 〈学校関係者評価〉B

### ○学校関係者評価について一部説明

- ボランティア活動に関して地域の評価が高い。取組を継続し、自己有用感の醸成に努めてもらいたい。
- いじめ問題については、組織的に適切な対応ができている。引き続き生徒が相談しやすい学校の雰囲気づくりをお願いしたい。
- 重点的に取り組む独自評価項目「SAGA唯一無二の学校魅力化促進授業」における学校魅力化については、様々な取組が行われており、全体的に評価できる。高校生の声を取組に反映させることで、魅力が増すと思われる。未来探求進学コースのPRを継続するとともに、卒業生の実績を蓄積させ、普通科の志願倍率を指標に近づける努力が必要である。

※ 運営委員の皆様のご意見等ありましたら学校の方へご意見を寄せていただきたい。

(2) 令和7年度高校魅力化評価について

➤ 令和7年度学校重点目標 とアンケート結果 (7月・12月)

- ・「この学校を中学生に勧めることができる。」と回答する生徒の割合→生徒80%以上、職員・大人95%以上

☆高校魅力化評価アンケート結果 → 〈生徒〉 (7月) 70.2% (12月) 73.5%

☆高校魅力化評価アンケート結果 → 〈職員・大人〉 (11月) 90.1%

※学校評価アンケート結果 (12月) → 〈生徒〉 85.1% 〈職員〉 95.8%

- ・「この学校に入ってよかったと思う。」と回答する生徒の割合→85%以上

☆高校魅力化評価アンケート結果 → 〈生徒〉 (7月) 83.2% (12月) 84.5%

- ・「自分の将来について明るい希望をもっている。」と回答する生徒の割合→80%以上

☆高校魅力化評価アンケート結果 → (7月) 73.9% (12月) 80.5%

- ・「将来、自分の住んでいる地域のために役に立ちたいという気持ちがある」と回答する生徒の割合→70%以上

☆高校魅力化評価アンケート結果 → 〈生徒〉 (7月) 75.6% (12月) 75.3%

- ・「学校で学習することで、自分ができることやしたいことが増えている。」と回答する生徒の割合→90%以上

☆高校魅力化評価アンケート結果 → (7月) 82.1% (12月) 83.8%

4 地域連携部会から

- ・「高校生サポーター」・・・年間を通して、地域へのボランティア活動に参加。

今年度は、のべ730名の本校生が参加。(1月末現在)

- ・「高校生ティーチャー」・・・7月～8月に、地域の小学生を対象に、宿題サポート、書道、絵画、スポーツ、プログラミング教室を実施。今年度は、のべ182名の本校生が参加。

- ・本日の生徒とのワークショップでもボランティアの話を聞いたが、楽しく参加してもらっているという印象を受けた。「鹿島ガタリンピック」では、今年も116名の生徒さんがボランティアに参加をしてくれて、高校生の参加によって運営が大いに助けられている。ボランティア活動に参加することで気づきがあったり、将来のことを考えたりするきっかけになればと考える。

- ・「ふな市・あめ湯づくり」のボランティアにも参加してもらって、運営の方や地域の方も大変喜ばれていた。

◎運営委員、校内委員からの意見・質問等

➤ 学習や課題について

- ・在校している生徒から、課題の量が多いという話を聞くことがある。学習量と部活動の両立で苦勞するという話も聞いたことがある。入学したら満足度が高いようだが、入学する前に課題が多いとのことで入学を迷う生徒や不安に思う生徒もいるのでは？

- ・他の地区の進学校と比較すると果たして課題が多いのか？課題が多いというイメージだけなのでは？

- ・ボランティアや部活動などやりたいことが多い生徒は、一生懸命に取り組む中で大変忙しい状態。授業などでプレゼンテーションなどの機会も多い。

- ・いろいろなことにチャレンジする機会が提供されているので、その中から選択していくことも必要である。

- ・スマートフォンに時間を奪われているのだろう。普通科進学校なのだから、課題は必要である。

- ・大学に進学するためには、一定の学習量が必要である。課題に取り組む期間は十分に与えられている。職員の生徒への学習への動機づけや家庭での支援も必要である。

▶ **ワークショップの中で感じたことについて**

- ・先ほどのワークショップで、生徒さんたちといろいろお話ができてよかった。大変びっくりした。小学校でも、人の目を見て話すことの大切さや挨拶の仕方を教えているが、ワークショップのグループの生徒さんたちは、初対面なのにコミュニケーション力があって感心した。卒業した後も、いろいろなところで活躍してくれるのだろうかと思った。また、普通科でどんな授業がなされているのか、探求活動はどのようなものなのかをもっと知りたい。ワークショップでの「高校生が直接中学生に学校の良さや魅力を伝える」というアイデアはとても良いと思う。
- ・第一部のワークショップはとても新鮮でよかった。生徒さん一人ひとりの人間力に驚いた。素敵な高校生だなと感じた。地元でも鹿島高校生は大評判である。鹿島高校卒業生がいろいろなところで活躍されている。先生と生徒の目指す方向性や目指す姿が一緒なのかな？そのあたりを考えていくと突破口が見えてくるかもしれないとワークショップの中で考えた。
- ・志願倍率の件は、高校だけで解決できる問題ではない。本日のワークショップに参加してくれた生徒は、課題意識を持っている子たちで、意識の高い生徒さんたちだろう。そのような生徒さんたちが、リーダーシップをとって鹿島高校を引っ張ってほしい。そして、地域の子どもたちが鹿島高校へ行きたいと思ってもらえるような学校づくりに運営委員としても協力したい。
- ・志願倍率のことは気になっているが、前半のワークショップで、こんなに素晴らしい生徒さんがいるのだと希望を感じた。鹿島高校にはこういう魅力のある生徒がいるということを、中学生に伝えていきたい。学校の魅力を伝えるのはもちろんだが、ここにいる在校生に魅力を感じてもらえる、あこがれをもってもらえるように、発信していくのが大事だと思う。
- ・子どもたちと話してみて、子どもたちには伝えたいという気持ちがあつて、しかしながら、写真が撮れないとかの制約もあつて。小学校、中学校の子どもたちから見た鹿島高校のイメージがついていて、そのイメージを変えていくためには、文章だけではなくて、実際の生徒たちの姿や授業の様子、日常を映像などで伝えていく必要がある。そうすれば、小学生や中学生が鹿島高校に入学したらというイメージを持ちやすくなるのでは。伝えたいという生徒たちの気持ちがあるので、大人が知恵を出し合ってサポートできればと思う。
- ・ワークショップも含めて、非常に熱意のある会議だなと感じる。学校、市役所、学校運営協議会が協力して、生徒の思いを少しでも実現させていければと思う。

▶ **生徒募集や魅力発信について**

- ・今までとは違う方法で生徒を集めるというアプローチの仕方が必要なのかもしれない。他のエリアの学校へ進学している生徒を引っ張ってくる。地元から地元の高校にというこれまでの考え方が今は通用しないのかなと思う。
- ・鹿島高校の良さが中学生に伝わっていない。中学生が知りたい情報とミスマッチがあるのではないかな。
- ・情報発信については、例えば、スマートフォンの使用についても検討して、生徒たちの広報クラブのようなものを作って、高校生自らが発信していくというようなことなどもできるのではないだろうか。
- ・未来探求進学コースの面白い授業内容やカリキュラムについてもっと知ってもらえるようにしたほうがよい。
- ・高校魅力化評価アンケートで「この学校を中学校に勧めることができる」の質問項目で、商業科の数値が令和7年度2回目のところで数値が大きく下がっているのが気になった。一番イメージしにくいのが商業

科なのかなと思うので、商業科がどのように活躍しているのか、何を学習しているのかなどをもっと伝えることができればと思う。

- ・本日の話し合いで出てきた中で、「どう伝えていくのか」というのが大きなポイントであると考えている。来年度、いろいろな部署で連携しながら、生徒が前面に出る形でのよい方法が模索できればと考えている。

➤ **その他**

- ・来年度も「鹿島さいこうプロジェクト」では、市役所の職員を派遣する。その他にも、地域とつながりたいというような取組がある場合は、市役所に遠慮なく言ってほしい。
- ・やはり入学したら、進路保障が一番大事である。学校、家庭、地域が力を合わせてやっていく必要がある。